

カリン・ギムバード (Carine Guimbard) は、2015 年ル・コルビュジエ設計の「サヴォア邸」でのフォールディング・コスモス (* folding cosmos) 開催以降、ミース・ファン・デル・ローエ設計の「バルセロナ・パビリオン編 (2017)、アルヴァー・アアルト設計の「メゾン・ルイ・カレ」編 (2019) での協働が続く、日常の風景やオブジェクト・人々との関係性を独自の視点で切り取るパリ在住のアーティストです。

フォールディング・コスモス (2011-) は、9.11 から 10 年目を迎えたニューヨークのために初めて企画されたプロジェクトです。「記憶と対話」「終の住処」を企画のテーマとし、その要素と日本の美意識を同時に内包する最小空間のモチーフとなった幕末の北方探検家・松浦武二郎 (1818-88) が東京に残した一畳だけの書齋「一畳敷」のエッセンスを抽出して家具化した * folding cosmos [内在する | 折りたたみの小宇宙] シリーズは、以来 10 年間の時をかけてアーティストの芸術作品と多様なプログラムで構成しながら 8 カ国 14 都市を巡回しました。

9.11 から 20 年、そして 3.11 から 10 年目にあたる 2021 年に開催が予定されているニューヨークのイサム・ノグチ庭園美術館編に向けて、ル・コルビュジエの名作「小さな家」で出版を手がけるスイスの「CALL ME EDOUARD」社から、このプロジェクトを写真と文章でたどる「* folding cosmos - Small Part of Infinity」が出版されます。フランス語版の本「小さな家」のオリジナル・サイズで作られるコンパクトな本の中に、各国のキュレーターや研究者達からテキストが寄せられました。2020 - 21 年のホリディ・シーズンに、フランス語圏でのオンラインから順次販売予定です。

website: www.call-me-edouard.com/en/

小さな本の中に広がる旅の記録をご一読いただければ幸いです。

* folding cosmos | デザイナー・ディレクター
倉島 美和子



FONDATION
FRANCO
JAPONAISE
SASAKAWA



FUJIFILM
Value from Innovation



FONDATION LE CORBUSIER

fundació
mies van der rohe
barcelona



ALVAR AALTO

noguchi

* folding cosmos

Small Part of Infinity



CALL ME EDOUARD
Editeurs | Publishers

Villa «Le Lac» Le Corbusier

